

令和7年度 児童相談所関連研修

児童心理司(応用) I

日 時

11月4日(火)、6日(木)
9:00~17:00 【2日間】

対 象

(1) 児童心理司
(2) 心理職として採用された職員
※心理職としての実務経験があり、基本的な用語、理論等をおおむね理解できている職員
【定員80名】

ねらい

児童心理司として、複雑・困難な事例においても他職種・他機関と連携し、適切なアセスメント、治療的ケア、助言対応等ができる実践的能力の向上を図る。

場 所

特別区職員研修所(東京区政会館別館)
(千代田区九段北1-1-4)

※研修カリキュラムは、次ページに掲載しています。



カリキュラム

11月	教科目・講師名（敬称略）	内容
4日 (火)	9:00～17:00 トラウマケアにいかす 持続エクスポージャーのスキル 【講師】上智大学 総合人間科学部 心理学科 准教授 齋藤 梓 ～講師紹介～ 精神科クリニック、感染症科HIVカウンセラー、スクールカウンセラー、PTSDの治療効果研究のご経験があり、犯罪被害者支援、遺族の精神的ケア、トラウマ焦点化認知行動療法の実践及び研究に携わられている講師にご登壇いただきます。 ◇著書：「性暴力についてかんがえるために」（一藝社） ◇論文：「被害者支援における PTSD への対応」（2025 年）、「司法面接に関わるトラウマと心理的ケアの問題」（2025 年） 他多数	◇持続エクスポージャーや、トラウマインフォームドケアに関する基本的な知識を学び、なぜトラウマを負った人に曝露療法が効果的なのか理解を深めます。 ◇持続エクスポージャーの原理を基本に、通常の心理支援の中でトラウマレスポンスなケアをどのように行っていくか事例を通して学びます。
6日 (木)	9:00～17:00 WISC-Vを活用した子どもの アセスメントとフィードバック 【講師】鎌倉女子大学 児童学部 子ども心理学科 講師 吉村 拓馬 ～講師紹介～ 自治体の心理職、地域療育センター心理士としてのご経験もあり、知能検査・発達検査とその活用、及び療育・発達支援に関する実践的研究を数多くされている講師にご登壇いただきます。 ◇著書：「季刊・公認心理師」（共著／共同出版） ◇論文：「心理検査の結果説明に関する調査：小児思春期外来の受診状況から」（2024 年）、「療育手帳判定における知能検査・発達検査に関する調査」（2019 年） 他多数	◇WISC-V 知能検査を活用したアセスメント、解釈について学びます。 ◇事例検討などを通して、検査結果をフィードバックする際のポイントや、支援への活用について学びます。 ※実技講習会ではありませんのでご注意ください。
計	14 時間（2 日間）	